

【応募用紙】

提出いただいた応募書類（規約・会則等、役員名簿、収支書類を除く）は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開します。**応募用紙・補足資料に個人情報に記載しないようご注意ください。**

1 応募者概要

団体名	(ふりがな： よこはまいちりつはざわしょうがっこう) 横浜市立羽沢小学校		
代表者の役職・氏名	たやたえこ (役職) 校長 (氏名) 田屋多恵子	活動にかかわる 児童・生徒・学生数	(令和3年11月現在) 338名
ホームページアドレス	http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hazawa/	活動開始年月	平成7年 4月
環境に関する主な活動内容 (審査対象となる環境活動・取組を箇条書きで記入。行を適宜追加して下さい)	環境に関する主な活動内容 (例) □□の美化・清掃活動、○○の生き物調査、植樹活動、△△の環境教育、食品ロス削減、地産地消 など		※(もし該当がある場合は、SDGsの目標番号を記入してください)
	① 地元農家からの協力を得てのキャベツ栽培を中心として(低学年はサツマイモ・3年生は毎年キャベツを栽培し販売(栽培活動地産・地消)平成7年～令和3年(26年間)		2・12・15
	② 3の2ジャムでハッピースマイル大作戦はざわのたからを伝えよう(環境教育)令和元年		11・12・15
	③ 伝えようバラ「はまみらい」の魅力・広めようありがとうの輪(植樹活動)令和2年		12・15・17
	④ 廃食用油で地球の自然を守り隊(環境教育)令和2年		7・11・12・13・14
	⑤ つくろう羽沢ビオトープ(環境教育)令和2年 ⑥ 地球みんなBeeHappyミツバチ守ろうプロジェクト(環境教育)令和3年		11・15 11・13・15・17
活動範囲 (複数選択可)	1 学校内 ○ 2 学校外○ (地元農家さんから借りている畑・羽沢██████████ファーム)		
活動分野 (複数選択可)	1 川・海・水 2 緑・樹林○ 3 農業○ 4 3R 5 環境教育・学習○ 6 生物多様性 7地球温暖化対策○ 8その他()		
活動の目的やねらい	生活科や総合的な学習の時間を中心に栽培活動や植樹活動や環境教育を行い地球温暖化の対策への意識を高めるよう児童の育成を促す(SDGsの理解を深めESDを推進する)。特に土づくりをしたり、キャベツや野菜を自分達で作ったりする活動を通して気温や気候と植物の生育状況との関連や食料の大切に気付く子ども、環境に関心をもち自ら行動する子どもを育てる。		
過去に受けた表彰および受賞年度	(例) 横浜□□賞(平成○年度) 該当なし		

2 最近3年間の主な活動

※「1 応募者概要」の「環境に関する主な活動内容」について、最近3年間の主な活動内容を記入してください。

	活動・取組・イベント等の 名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、発行部数等	詳細内容
令和元年度	① 農家さんの協力を得た野菜作り（農家さんの協力）	185	・2年生「にこにこ やさい会社」生活科でのサツマイモづくり ・3年生「羽沢3の2野菜で地域の人に喜んでもらおう」3年生のキャベツづくりと販売
	② 校庭の夏ミカンからのジャムづくり（野菜ジャムの達人の協力）	35	・3年生 「3の2ジャムでハッピースマイル大作せん！」校庭の夏ミカンのジャムづくりに挑戦、素材を使い切ることに気付きました。野菜ジャムに挑戦自分達の作ったキャベツにはちみつを入れおいしいキャベツジャムを実現しました。 【資料1】
	③ 「HAZAWA SUSTAINABLE III」リーフレット	500市内学校	・毎年のESDやSDGsの歩み（生活科や総合的な学習等で取り組んだ学習材のキャベツやジャムや野菜そして協力者を羽沢サステイナブルマップのイラストに追加。イラストは教諭が作成。令和元年度は、水田づくりでパルシステムさん、米からできるもので川美おせんべいやさん、ジャムズづくりエクセルさんJCスタジオの方や羽沢国大駅の方、保育園さん、横浜ボッチャクラブさんを追加) 【資料7 2020版】
	④ 横浜カーボンオフセットプロジェクト 授業外の取組		・学校全体で「省エネ行動」に取り組んだ。自宅で児童がおうちの人も巻き込み、「省エネ行動」をした。 【資料9】
令和2年度	⑤ 農家さんの協力を得た野菜づくり（農家さんの協力）	100	・3の3「羽沢の畑で育てたい・作りたい・食べたい豆腐の巻」 ・3の2「3の2のキャベツあい」を伝えよう ・3の3「サンサン大豆デラックス」 地域の方や専門家の方と関わり合いながら畑でキャベツや津久井・大豆を育てました。 【資料2】
	⑥ 廃食油で地球の自然を守り隊（NPO法人ソフトエネルギープロジェクト協力）	37	・4の1社会科で自分たちの暮らしが森や海につながっていることを学び、廃食油が大量の水で流してもきれにならないことから活用を考えキャンドルや石鹸づくりに取り組みました 【資料3】
	⑦ 伝えようはまみらいの魅力広めようありがとうの輪（ローズプロジェクト・フレグランスデザイン）	38	・4の2 6月に美しく咲くバラ「はまみらい」に興味をもち、ローズプロジェクトともつながり、植樹活動を通して「はまみらい」の魅力を全校に広められた。 ・バラのことをもっと知りたいとブルガリアンローズ協会のフレグランスデザイナーさんが来てくださって、バ

	<p>ナーの方・サカタのタネの方の協力)</p> <p>⑧ 5の2「つくろう、羽沢ビオトープ」(横浜メダカ保存会の方)</p> <p>⑨ 「HAZAWA SUSTAINABLE IV」リーフレット</p> <p>⑩ 横浜カーボンオフセットプロジェクト 授業外の取組</p>	<p>26</p> <p>500市内学校</p>	<p>ラの魅力と薬として使われていたことや花の香りの力について学び、香水づくりに挑戦した。【資料4】</p> <p>・5の2学校にある観察池は今まで汚れもあり循環も良くなかったが、子ども達が改良して生き物によいビオトープにしたいと考え活動が始まり、植物や生き物について学びながら羽沢ビオトープを完成させることができた。【資料5】</p> <p>・毎年のESDやSDGsの歩み(生活科や総合的な学習を中心に取り組んだ学習材や協力者を羽沢サステナブルマップのイラストに追加。イラストは教諭が作成。令和2年度は、MAYLILY フレグランスデザイナーさん、サカタのタネの方、津久井大豆の豆腐工房さん、ローズプロジェクトさん、横浜すばいすさん、ソフトエネルギープロジェクトさん、を追加)</p> <p>【資料8 2021版】</p> <p>・学校全体で「省エネ行動」に取り組んだ。自宅で児童がおうちの人も巻き込み、「省エネ行動」をした。</p>
	令和3年度	<p>⑪ 農家さんの協力を得た野菜づくり(農家さんの協力)</p> <p>⑫ もっと羽沢のキャベツのおいしさを伝えたい(協進印刷さん)</p> <p>⑬ 地球みんなBeeHappyミツバチ守ろうプロジェクト(養蜂家さん・リビングラボさん)</p> <p>⑭ 「HAZAWA SUSTAINABLE V」リーフレット</p> <p>⑮ 横浜カーボンオフセットプロジェクト 授業外の取組</p>	<p>200</p> <p>35</p> <p>36</p>

※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中の場合には、「詳細内容」の部分にその旨を御記入ください。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
学内の生徒等や教員、保護者との関わり	「学校の花壇をきれいにしよう」	・学校の栽培委員会（授業外の取組）の児童と、保護者グリーンボランティアが委員会活動の時間に一緒に活動を行う。令和元年のみ実施（コロナ禍で現在停止中）
自治会・町内会との関わり	「地域の人と一緒に地域をきれいにしよう」清掃活動	毎年10月に地域代表20名と5・6年生児童と一緒に学校から自分の居住しているところに向かって歩きながら清掃活動を展開している。（コロナ禍で令和3年度は実施せず）毎年実施10年間実施
学外団体との関わり	○NPO 法人「ソフトエネルギープロジェクト」 ○NPO 社団法人「横浜すばいす」 ○養蜂家さん ○国際交流センターさん ○環境活動家「露木志奈さん講演」	・令和2年度廃食油の活用・廃油キャンドルづくり ・令和2年度ローズプロジェクトの方による「はまみらいの魅力」についての話 ・ミツバチについてのお話 ・子どもSDGsの学習 ・「地球温暖化を止めるためにできること」令和3年10月12日実施
企業等との関わり	○サカタのタネの支援者さん ○有限会社「メイリリィ」フレグランスデザイナーさん	・4年生の「はまみらい」の植樹の指導 ・バラの花の魅力と薬としての活用の歴史、香りの力について学ぶ、香水づくりに挑戦
行政との関わり	○横浜カーボンオフセットプロジェクト 学生部門に参加 ○アースアワー 授業外の取組	令和元年度～令和3年度「横浜カーボンオフセットプロジェクト」に学校全員で取り組む（横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課） 令和3年3月27日 全児童と地域保護者に呼びかけ消灯に協力した、アースアワーに参加＜5年生の実践報告＞（温暖化対策統括本部調整課）
その他、環境以外の分野との関わり	○岩手県一戸市不来方小学校とのオンライン交流 ○羽沢サステイナブルマップ	令和3年5月 横浜の「はまみらい」を送り、岩手の一戸町から「藤島のふじ」の花の苗をいただいた。また、一戸町立小鳥谷小学校との5年生のオンライン交流5月26日5校時実施。 教員が実際に連携をし、一緒に授業づくりに取り組んでくださった農家の方・地域のゲストティチャー・学習材（伝統文化のお囃子や福祉施設、高校のカルタ部）など教育資源を羽沢小学校サステイナブルマップにまとめながらESDに取り組んできた。【資料7 2020版と資料8 2021版】

4 団体の発足経緯、活動を始めたきっかけ

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

羽沢小学校周辺は畑であり、様々な地域農家の方が野菜を栽培している。学校の前のキャベツ農家さんとの交流は26年間、毎年3年生を中心としてキャベツ栽培の学習を支えていただいている。

羽沢小学校の立地から考えても26年伝統のキャベツづくりの栽培体験は欠かせないものであった。平成29年度より学校全体で生活科総合的な学習の単元開発に取り組み始めた。地域の学習の材（農家さんとのキャベツ栽培から販売、羽沢ファームと学ぶミツバチの環境に対する働き等）の価値を再認識し、発見し多くの地域協力者や企業の力、取り入れながら、取り組みはじめたところ、環境に関する関心も高まり、自分達で自分達の周りの環境を改善するための工夫や活動が増えてきている。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

本校はESDに取り組んでいますが、ESDの視点から、育てる能力態度をその都度明確にしてさまざまな学習に取り組んでいます。「未来」「多面」「伝達」「参加」「協力」「関連」などがESDで育てる能力態度ですが、自分が社会や環境と関わり合っている。自分が対象に働きかけることでまちや地域、そして地球の環境が少しでも改善することができる、自分のしたこと人の役にたっていると実感をもっており、3年目になり連続して学んでいる児童の環境に対する関心意欲が高まっています。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

- ① キャベツ農家さんに教えていただき、毎年3年生の子ども達は、冬キャベツを作ったあと、そのキャベツを地域の人に11月末から12月はじめに300個程度販売している。どこに看板を出したらよいか、いくらで売ったらよいかについて話し合い、畑の前や保育園の前などポスターを書いて販売をしている。年によってはどんな風に食べるとおいしいかについても調べ、レシピを添えて口頭で買ってくれる人に説明して販売している。
- ② ジャムづくりは、校庭の夏ミカンをジャムにしてみたいという子どもの思いから活動が始まった。初めは夏ミカンの皮で作ったが、野菜ジャムについて学ぶうちにすべてを使えることを学び、みかんジャムでは皮と実すべてを使ったミカンジャムを完成させることができた。またキャベツはキャベツくさきがあったが、とれたてキャベツは新鮮でキャベツくさきがないことがわかり、ハチミツをいれておいしいキャベツジャムを開発し食べることができた。皮まですてることが一つもないジャム、地産地消をはじめとして食品ロスについても学ぶことができた。
- ③ 今年はミツバチに着目する学級があり、「このごろミツバチが減ってきて困っている」という地域の養蜂家の方の話から、ミツバチが私たちをとりまく自然環境と密接な関係があることに気付いた。そこで「ミツバチを守るために」自分たちでできることを考え蜜源を地域につくりたいという活動になった。蜜源として固定種でミツバチが来る花の色を調べて実現しようと行動している。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

今までは生活・総合的な学習の中でE S Dとの関連、そしてS D G sとの関連を意識しながら学習を他機関の協力も力を得てダイナミックな展開になるように努めてきました。幸い地域農家さんのキャベツ指導も息子さんともども指導にあたってくださるようになり継続には大きな力となっています。しかし、今後さらに豊かな展開をしていくために、生活科や総合的な学習をもとに、地域を歩いて先生方がつながった学習の教育協力者になってくださった「ジャムづくりに取り組んでいる方」そして「ミツバチを育てている養蜂家の方」「ビニルハウスで花の栽培を50年も続けている方」また「だいたいやミカンの木をくださった植木を育てている方」など、さらに多くの地域の方々となつながら協力も得ながら、発達段階に応じた環境に関する教育活動に学校全体で取り組んでいきたいと思っております。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

最も注目してもらい評価してもらいたい取組

子どもの変化

- ① キャベツ栽培は26年間取り組んできましたが、3年前から生活科や総合で取り組むことで、今までの取組のよさが再認識され、それをきっかけに、先生方や子ども達の意識が、学校から地域やまちの様子や地域の人、そして環境へと広がりはじめたことです。26年間継続して実施していることで、生物多様性から恵みを受けていることが実感できています。学校外の方と交流しながらキャベツ栽培しており、子どもを通してSDGsの取組が地域の方々にも伝わっています。
そして現在は、キャベツ栽培をきっかけとして、他の植物や生き物に自然に目が向く、またそれらが相互に関連しあっていることに気づき、環境を守っていくことにも関心が高まっています。
- ② SDGsの活動の中で、児童が主体的・自主的に考え、実践へとつなげていく姿（例えば、はまみらいでの「自分たちにできること」を次々に提案する姿勢などやミツバチの蜜源を増やすために、自分達から働きかけて花壇を作ろうと行動する）が多く見られるようになってきています。
- ③ 児童が授業を中心として行った環境行動や学びを、児童が家庭で伝え、家庭でも実践することで、広く波及効果が出ています。（例えば廃食油の回収に協力したり、カーボンオフについて子どもから家庭で話したことから実践したりする姿が見られるようになっていきます）

4 ウェビングマップから見られる児童の変容

3年生「3の2ジャムでハッピースマイル大作せん！ ～はざわのたからをつたえよう～」



目標11

「住み続けられるまちづくりを」



目標12

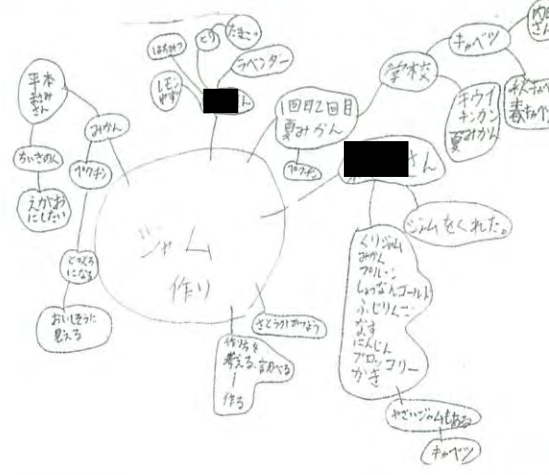
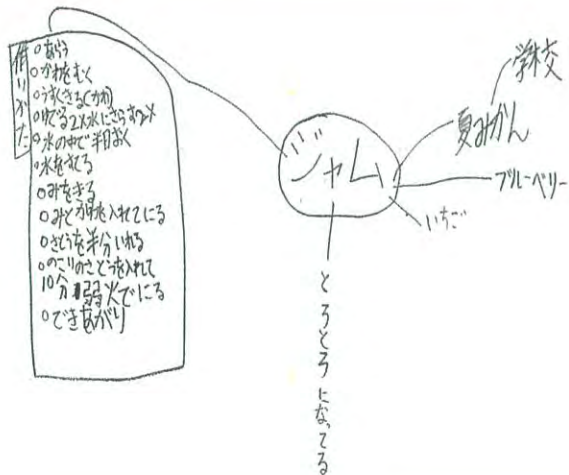
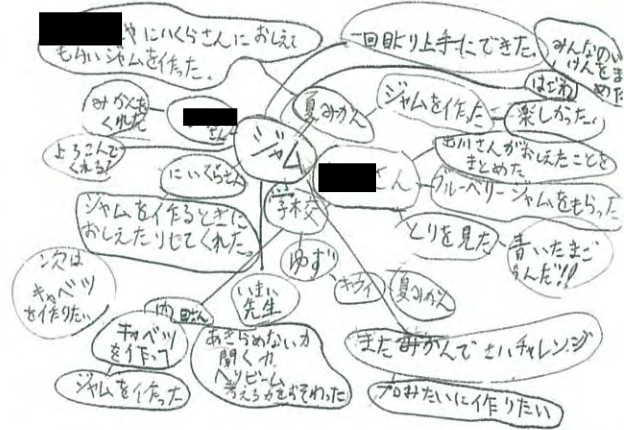
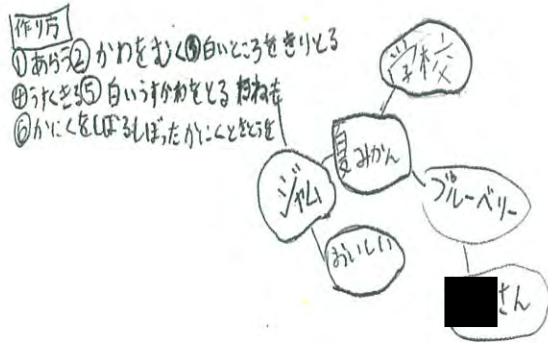
「つくる責任 つかう責任」



目標15

「陸の豊かさを守ろう」

児童の変容 単元導入時と12月段階



校庭に生育する、地域からいただいた様々な実に着目した子どもたちは、「ジャムを作って地域の人たちを喜ばせて笑顔にしたい」という思いをもち学習をスタートさせた。まずは校庭の夏みかんを使ってジャムづくりに挑戦した。

失敗と話し合いを繰り返す中で、地域の地産地消をめざす■■■さんや、ジャムづくりの達人の■■■さんと出会った。■■■さんからは、「大根ジャム」「なすジャム」「ブロッコリージャム」などいろいろな野菜がおいしいジャムになることを教えていただいた。

そしてさらに「普通のみかんの皮と実で作るジャム」と「自分たちで育てた羽沢のキャベツで作るジャム」に挑戦し完成させることができた。身の回りの、どんな実も野菜も様々な実も活用できることで相互性に気付くことができた。

6. 3年生の実践

資料2
200

級の取り組み

3年2組の「キャベツあい」を伝えよう

社会科の学習で、羽沢のまちにキャベツ畑が多くあることに興味をもち、自分たちも育ててみたいという思いで学習が始まりました。育て方について本で調べたり、農家の 〇〇 さんに指導を受けたりしながら、種から育てていきました。世話をしながら成長していく過程をみていく中で、キャベツへの愛着をもったり、農家の仕事のすごさや大変さを感じたりしました。

収穫したキャベツは、家族や全校、地域の方に食べて喜んでもらいました。羽沢のキャベツのおいしさを「キャベツあい」として発信する姿が見られるようになりました。



地域 ⑥関連



級の取り組み

3-3(サンサン)大豆デラックス

地域や専門家の方と関わりながら、学校の目の前の畑で大豆（津久井在来）を育てました。

「週に一度は畑の様子を見に行こう。」と決めて、毎週生長の様子を確かめる中で、土寄せや水やり、鳥や虫対策など、様々な課題に気付くことができました。

豊作だったので、一人一株持ち帰り、各家庭で枝豆として食べ、そのおいしさに驚いていました。残りの大部分はそのまま大豆にしましたが、一粒の種が何十倍にもなることや、乾燥させることで長期保存がきくこと、様々な食品に姿を変えて食べられていることなど、活動の中でたくさんの気づきがありました。

節分に合わせて煎り豆を作り、伝統的な食文化にも親しむことができました。

活動を通して、大豆そのものや、地域への愛着・感謝の気持ちを家庭や人々に伝えることができました。



地域 ⑥関連



三島級の取り組み

羽沢の畑で、育てたい! 作りたい!! 食べたい!!! ~豆腐の巻~

地域の方にお借りした畑で津久井在来大豆を栽培しました。枝豆の状態の一部収穫し、採れたてを試食しました。芋のような甘味を感じ、これまで食べてきた物との違いに驚いていました。大豆としては7kgを超える量を収穫できました。収穫し大豆で、豆腐作りに繰り返し挑戦し、食感・味・見た目・香りを改善していきました。



地域 ⑥関連



3年1組「羽沢の畑で、育てたい! 作りたい!! 食べたい!!! ~豆腐の巻~」

2の2)



目標2
「飢餓をゼロに」



目標12
「つくる責任 つかう責任」



目標15
「陸の豊かさも守ろう」

ウェビングによる児童の変容 単元導入時と12月段階

At the start of the unit, the children's mind map for '大豆' (Soybean) is simple, with branches for '食べる' (eat), 'しょうゆ', '雨が降ると水が溜まる' (water collects when it rains), and '大豆' (soybean). A photo shows children in a kitchen setting.

In December, the children's mind map for '大豆' has become much more detailed. It includes branches for '水やりをする' (watering), '草をぬく' (weeding), '大豆の葉の色が赤い' (soybean leaves are red), '大豆の葉の色が緑' (soybean leaves are green), '大豆の葉の色が黄色' (soybean leaves are yellow), '大豆の葉の色が黒' (soybean leaves are black), '大豆の葉の色が白' (soybean leaves are white), '大豆の葉の色が紫' (soybean leaves are purple), '大豆の葉の色が青' (soybean leaves are blue), '大豆の葉の色が赤い' (soybean leaves are red), '大豆の葉の色が緑' (soybean leaves are green), '大豆の葉の色が黄色' (soybean leaves are yellow), '大豆の葉の色が黒' (soybean leaves are black), '大豆の葉の色が白' (soybean leaves are white), '大豆の葉の色が紫' (soybean leaves are purple), '大豆の葉の色が青' (soybean leaves are blue). A photo shows children in a kitchen setting.

子どもたちは「農業を体験したい」「育てた物で何かを作りたい」という思いをもっていた。どのような野菜を育てるか話し合うと、種蒔きや収穫等の時期が話題となった。そこで、大豆はいろいろな食品に姿を変えることができること(多様性)に気付き、大豆を選んだ。そして、自分たちが育てている津久井在来大豆で豆腐を作っている豆腐屋さんの存在を知ると、かかわりをもてるように進んで働きかける態度が見られた。プロが作った豆腐の試食で味や食感のよさに驚いた経験から、豆腐作りに挑戦することになった。豆腐作りの成功を目指して、話し合い・実践・ふりかえりを繰り返し行うなかで、子どもたちは、より一層プロの味に近づくために、実際にプロと一緒に豆腐作りをする機会が欲しいという思いをもった(相互性)。プロとの豆腐作りを実現させた際には、プロの工夫・技、大豆の品種や産地・使う道具へのこだわりが気付くことができた。

地域 ⑥関連

7. 4年生の実践

4年1組「廃食油で地球の自然を守り隊！」



目標7
「エネルギーを
みんなにそして
クリーンに」



目標11
「住み続けられる
まちづくりを」



目標12
「つくる責任
つかう責任」

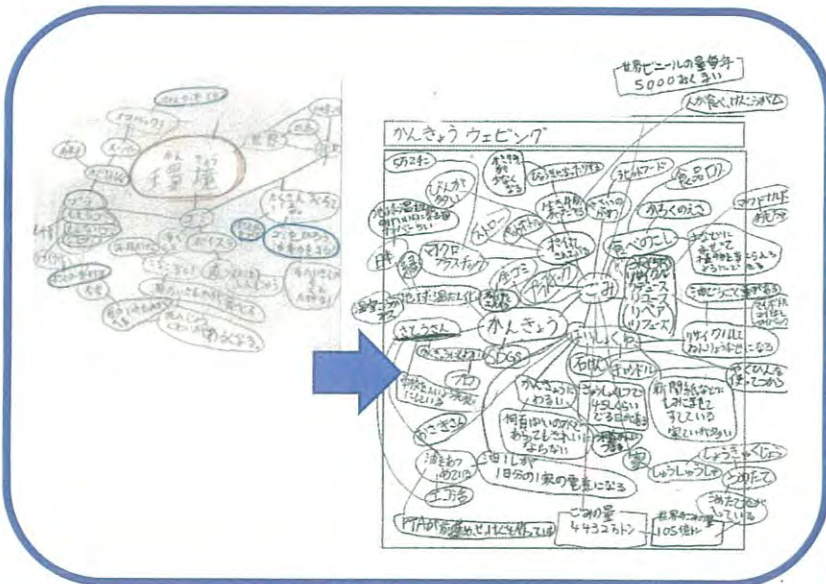
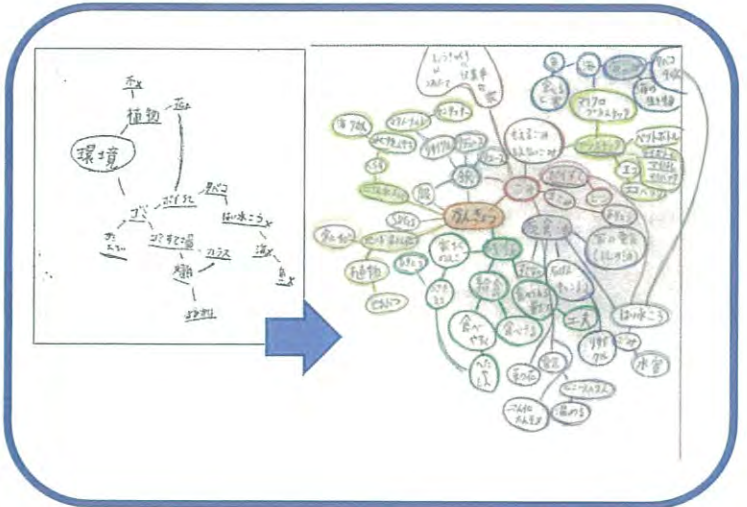
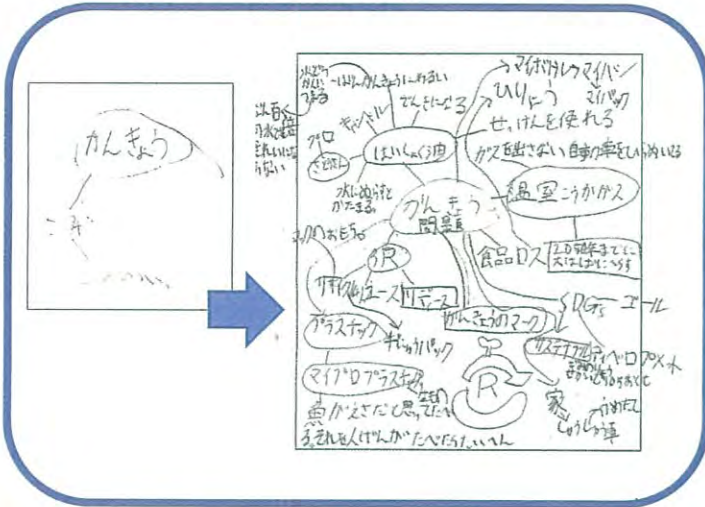


目標13
「気候変動に
具体的な対策を」



目標14
「海の豊かさ
を守ろう」

単元導入時と12月段階



社会科で、自分たちの暮らしが森や海とつながっていることを学び、レジ袋が有料化したことを知った子どもたち。「今の環境問題、もっと調べたい!」という思いから学習が始まった。プラスチック、食品ロス、ポイ捨て…まずは、一人ひとり課題を見つけ、グループで協力しながら調べ学習を進めた。クラスで共有後、さらに課題を発見した子どもたちは、調理員さんや、新聞で環境活動を紹介していたSさんをお願いし、教えていただいた。

本単元を通して、子どもたちが身につけた力はいくつかある。例えば、「廃食油は、大量の水で流してもきれいにならない、油は水道管を詰まらせ、環境に一番悪い。しかし、集めてリサイクルできる、電気にもなる、菜の花からできている油で作った電気は二酸化炭素が出ない、地球温暖化と関係がある!」と、子どもたちは、廃食油のことを多面的に捉えたり、知識を関連付けたりしながら学びを進めた。また、プロの方に話を聞くための依頼や、他のクラスによびかけて廃食油を回収しよう!と、ちらしを作り、羽沢小みんなの家から油を回収するなど、「無理かもしれない。」「できるかな。」と思ったことにも、進んで参加する態度も見られた。上記の通り、相互性に気付くとともに、「油を使うときには、流さないようにしたい。」「リサイクルなどできることをしたい。」など責任性に気付くこともできた。

※NPO 法人ソフトエネルギープロジェクトの方

環境

- ②未来
- ③多面
- ④伝達
- ⑥関連
- ⑦参加

4年2組 「伝えよう！はまみらいの魅力 広めよう！ありがとうの輪」

12 つくる責任
つかう責任

目標 12
「つくる責任
つかう責任」

15 緑の豊かさ
守ろう

目標 15
「緑の豊かさ
守ろう」

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

目標 17
「パートナーシップで
目標を達成しよう」

ウェビングによる児童の変容 単元導入時と12月段階

6月のウェビング

12月のウェビング

6月のウェビング

12月のウェビング

はまみらいの苗をいただき、
意欲が高まりました。

きれいになった花壇に
はまみらいを植え替え

羽沢小学校のはまみらい

花壇をきれいにしようとする子どもたち

6月にきれいに咲く「はまみらい」の花を見て、「自分たちも育ててみたい」という思いをもち、活動がスタートした。はまみらいの苗を手に入れるにはどうしたらよいのかを調べ、ローズプロジェクトの方とのつながりを通して、苗を2株いただいた。ローズプロジェクトの方とかかわり、はまみらいを大切にしている思いに気付き、自分たちにもできることはないかと考えた。花壇に植え替えをしたり、知ってもらふ方法を考えたりする中で、「しっかりと世話をして大切に育てていきたい」、はまみらいの魅力、バラがもつ「ありがとうを伝える」というよさを広めたいと、一人ひとりのはまみらいに対する思いが高まった振り返りが見られるようになり、つながりを尊重する態度（連携性）が育った。

環境 ②未来 ③伝達 ④協力 ⑥関連



目標11

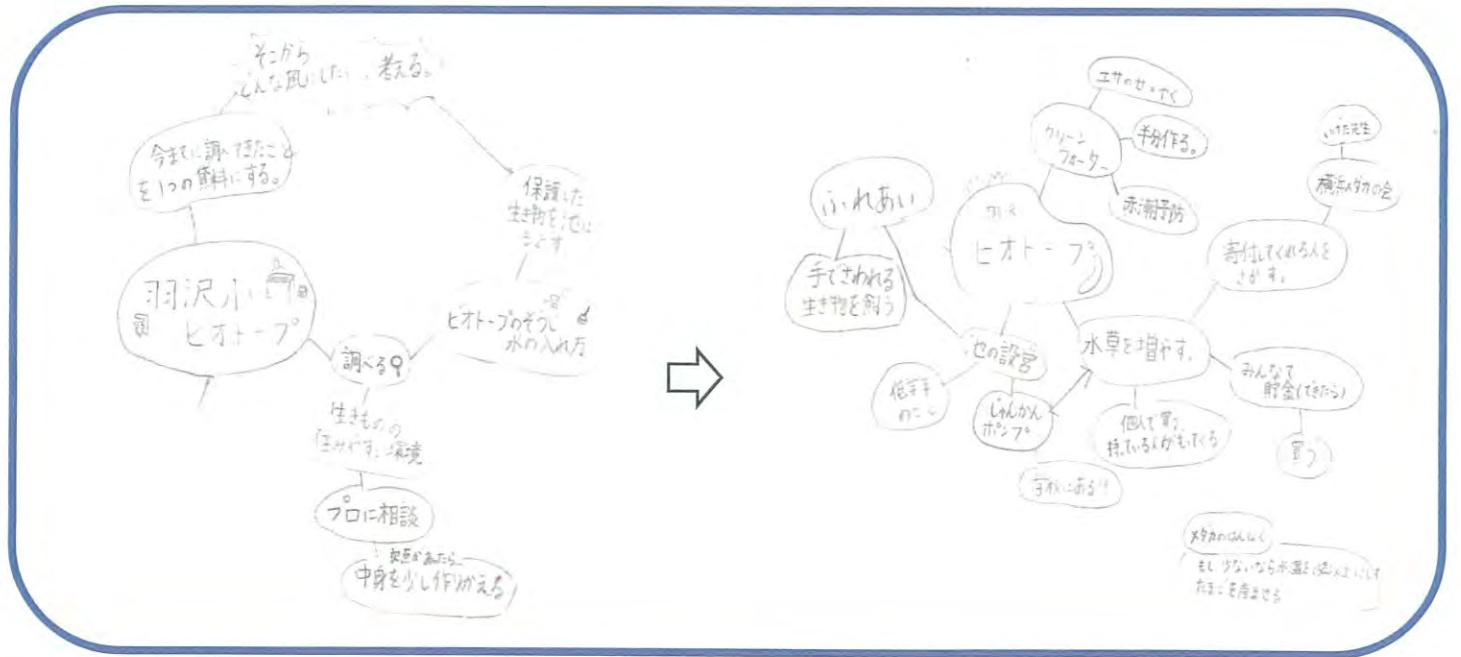
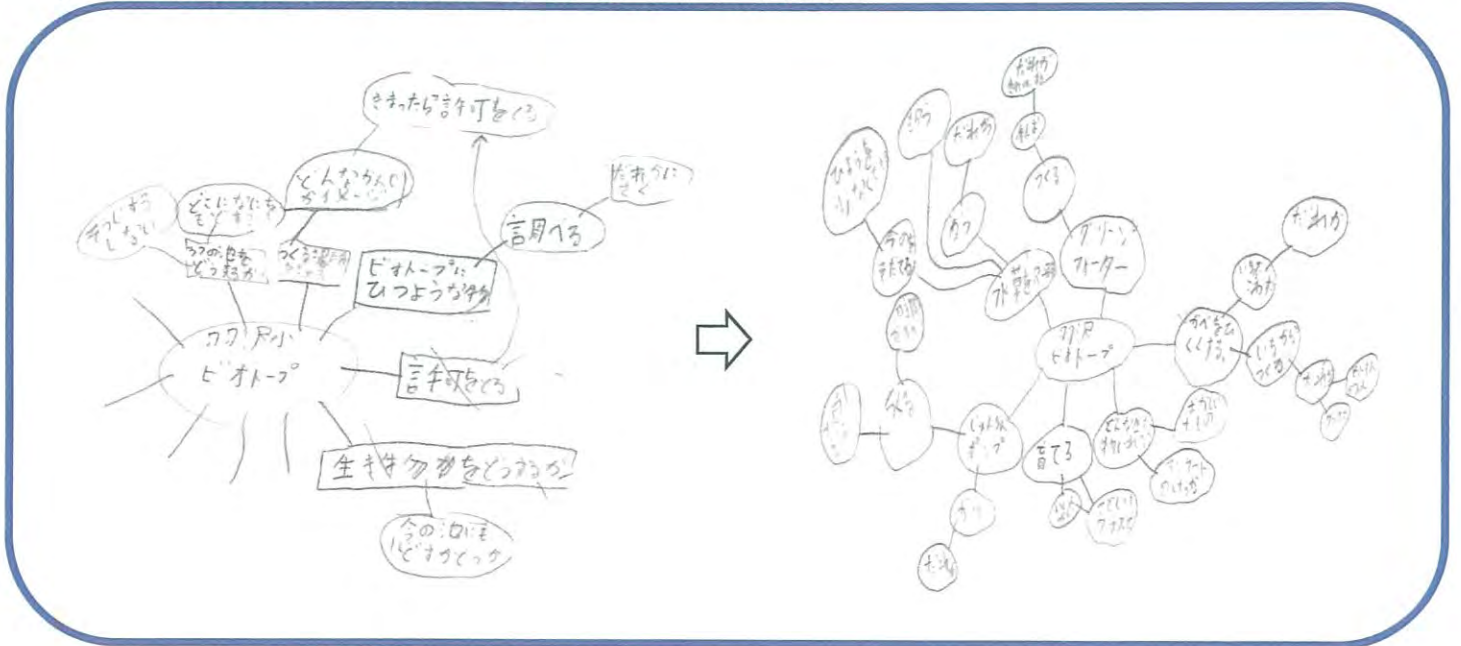
「住み続けられるまちづくりを」



目標15

「陸の豊かさを守ろう」

ウェビングによる児童の変容 単元導入時と12月段階



上記のウェビングは特に変容の大きかった2人のものである。2人とも活動には意欲的に取り組んでおり、グループ学習をする時も中心となって取り組んでいた。最初は、抽象的な記述であったが、12月時点では具体的なことを広く書けるようになってきている。

項目を見てみると、12月のウェビングでは、「グリーンウォーター」や「循環ポンプ」、「赤潮の予防」など、調べてきたことと関連付けてより具体的にウェビングを広げていることが分かる。また、「かべを低くする」「横浜メダカの会」「ふれあい」などといった、他者を意識した内容も見られる。よりよい「羽沢ビオトープ」にするために、様々な視点から未来を見据え、多面的に物事を考える力がついてきていると考える。

環境 ②未来 ③多面 ⑥関連

横浜の時間指導案

- 1 日時 令和3年 11月12日(金) 5校時
 2 学年・組 第5学年2組 35人
 3 単元名 「地球みんな Bee Happy! ミツバチ守ろうプロジェクト」
 4 単元について

活動に向かう子どもの思いや願い

環境や SDGs を材に学んだ1年間を経て、今年度も引き続き、環境のために活動していきたいという思いが共有された。SDGsに目を向けると、「昨年度は、陸の豊かさにつながることをした。引き続き緑を増やしたい。」という思いや「生き物についても知りたい。」という思いが出てきた。そんな中、2年前にお世話になった羽沢で農業や養蜂をしていらっしゃる方から「最近、ミツバチが減っていて困っている。地域のみんなに協力して欲しい。」ということを知り、何とかしたいという思いで単元がたちあがった。

身につけさせたい力と材について

「ミツバチ」は、私たちの暮らしや私たちをとりまく自然環境と密接な関係があることを教えてくれる。例えば、ミツバチは蜂蜜やローヤルゼリーだけでなく、野菜や果実などの農産物を私たちにもたらししてくれる。暮らしにかかせない「食」や「農業」とのつながりがあることを学べる。そして、環境問題に関心がある子どもたちにとって興味をもちやすい材である。

また、羽沢の地域は、畑や樹木が多く、ミツバチの蜜源が広がっている。この地域に住み、農家の方々とのつながりながら農作物を育てる経験をしてきていた子どもたちだからこそ、ミツバチを守る価値や地域の魅力に気付いたり、それを守ろうと働いている方の思いに迫ったりする意義がある。

初めの「ハチは怖い」という思いが、学習を通して新しい発見や感動、好奇心に変わっていくことを期待する。単元を進めていく中で、互いの意見を聞き合い自他を認め合う力や、他者に働きかけて解決策を実行する力を高めていってほしい。

単元目標

ミツバチを守るためのプロジェクトを考え、実践することを通して、地域でミツバチを守ろうとしている方の願いや考え方のよさに気付くとともに、ミツバチを守るための実践が自分たちの暮らしを豊かにすることにつながる事が分かり、進んで人や物事に関わろうとする態度を育てる。

5 単元で育てたい資質・能力(単元の評価規準)

探究課題		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ミツバチをとりまく環境を改善するために取り組んでいる人の願いや思い		<ul style="list-style-type: none"> ○ミツバチはその周辺の環境と関わって生きていて、人や自然などの地球上の生き物と影響し合っていることが分かる。 ○養蜂家の方は、地域との連携を図るなど、願いをもって取り組んでいることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ミツバチを守る」を実現するために、ミツバチそのものについての情報を集めたり、環境についての問題を見出したりして、解決の見通しをもつ。 ○情報の整理分析を行う。 ○ミツバチの魅力を、相手や目的に応じて伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ミツバチを守る」を実現するために、必要な情報を自ら調べたり、それを生かして意欲的に問題解決に取り組んだりしようとする。 ○クラスの友達や養蜂家の方との対話に進んで取り組み、協働的に問題解決に取り組んだりアイデアを出したりしようとする。
ESDの 視点	構成 概念	Ⅱ 相互性		
	能力 態度		②未来 ⑥関連	④伝達 ⑤協力

7 単元構想

今年のはざわでも、環境について考えていきたいな。




難しそうでもチャレンジする力、協力する力、よく考えてまとめる力、人と関わりながら身に付けていきたいな。

羽沢ファームのミツバチが減っているんだって。なんとかしてあげたいな。

ものづくりを通して学校や地域のの人に伝えていきたいな。

まずは羽沢ファームに行って、ミツバチのことを知ろう！

地球みんな Bee Happy! ミツバチ守ろうプロジェクト

1 今年のはざわはこんなことしたい (4時間)

- これまでの学びをもとに、身に付けたい力や「はざわ」で大切にしたいことを決める。
- 今年のはざわで学習していく材について検討する。
- 今年のはざわで学習していく材について決める。
- ミツバチを育てている地域の方の悩みを聞き、自分たちができそうなことを検討する。

2 ミツバチを守るためにできることって? (20時間)

- 地域の養蜂家の方を訪ね、悩みを聞いたり、巣箱を観察したり、はちみつを試食させてもらったりすることで、関心をもつ。(はざわ2時間)
- 養蜂家の方からミツバチの話の聞いたり、巣箱の中を観察させてもらったりして、今後の活動の見通しをもつ。(はざわ2時間)
- 見たり聞いたりしたことから、調べたいことややってみたいことを整理し、計画をたてる。
- ミツバチの特徴やまわりの環境について、関心があるテーマに沿って調べる。(2時間+家庭学習)
- 調べた情報を整理し、共有する。(はざわ2時間+国6+理3)
 - ・ミツバチは人を刺すと死んでしまうから攻撃しないんだって。初めて知ったよ。みんなにも知ってほしいなあ。
 - ・ミツバチを飼いたいな。巣箱を作ってミツバチを増やしたいな。
 - ・ミツバチは農薬で死んでしまうんだって。ミツバチに優しい農薬ってあるの？
 - ・45日間生きるけど、その間に集める蜜の量はスプーン一杯なんだって。はちみつは貴重だね。
 - ・気候変動のために、ミツバチの数が減っているらしい。SDGsともつながってるようだね。
 - ・はちみつが美味しかった。花や季節によって味が違うのかなあ。色々なはちみつを比べてみたいな。ミツバチが好きな花を調べて、増やしたい。
- 共有した情報をもとに、ミツバチを守るためにするプロジェクトを考える。
 - ・蜜源探し、マップづくり
 - ・花を増やす
 - ・ミツバチや環境に優しい農薬・堆肥づくり
 - ・巣箱作り
- リビングラボ関口さんと、これまでの活動の整理をする。
- プロジェクトの計画をたてる。

道徳
「自然愛護」

国語「本は友達」
「みんなが過ごしやすい町へ」

理科「花から食へ」

社会
「国土の自然とともに生きる」

3 Bee Happyプロジェクト (23時間) 本時

花を増やそうプロジェクト

- 花を植える場所を考える。
- さんに花を植える場所について提案する。
- 地図を見たり、実際に地域を歩いたりして植えたい場所を決める。
- 羽沢ファームに行き、■■■さんに花について教えていただく。
- 花について調べる。(2時間)
- 植える花を考える。(本時)
- さんに花について聞く。
- 調べたことをもとに、どこにどんな花を植えるかを決める。
- 花を手に入れる方法を決める。
- 花を学校や地域に植える準備をする。(4時間)
- 植え方、有機堆肥について調べる。
- 花壇の準備をする。
- 花を植える。
- 看板づくり

ミツバチとエコプロジェクト

- さんとはちみつや蜜ろうを使ってできることをする。
 - ・蜜蠟ラップ作り (4時間)

国語

「よりよい学校生活のために」

社会

「未来を支える食料生産」

4 未来のHappyのためにミツバチの魅力を広めたい (14時間)

- 魅力を伝える計画をする。
- 動画作成をする。(6時間)
- 養蜂家の方に見てもらう。(2時間)
- 訂正をする。(2時間)
- 学校や地域、横浜市に広めよう。(2時間)
- 振り返り

国語

「グラフや表をもちいて書こう」

道徳

「生物を大切に」



横浜カーボンオフセット プロジェクト

令和元年 10 月実施の取組結果

二酸化炭素
総削減量 **14,688 kg-CO₂**




プロジェクト取組結果

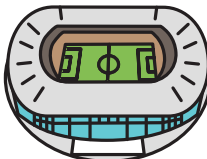


学校数全：186 校 参加人数
 ・小学校 139 校 合計
 ・中学校 47 校 **25,233 人**

今年度はたくさんの児童生徒の皆様にご協力頂きました！

二酸化炭素総削減量 **14,688 kg-CO₂**

とは 

日産スタジアム 

約 **26** 試合分の照明に相当する CO₂ の削減

*日産スタジアムでの試合（2時間）の照明使用による CO₂ 排出量：約 548kg-CO₂

省エネ行動リスト	1日のCO ₂ 削減量	取り組むことができた割合	削減量 kg-CO ₂
		全体 <input type="checkbox"/>	参加学校全体

自分でやってみよう！

1 使っていない場所の明かりは消そう	25g	<input checked="" type="checkbox"/> 67%	2918kg
2 TV を見ていないときは消そう	20g	<input checked="" type="checkbox"/> 61%	2131kg
3 シャワーを 1 分短くしてみよう	75g	<input checked="" type="checkbox"/> 49%	6426kg
4 掃除する前に部屋を片付けよう	5g	<input checked="" type="checkbox"/> 39%	342kg

おうちの人とやってみよう！

5 冷蔵庫の中身を整理しよう	80g	<input checked="" type="checkbox"/> 47%	644kg
6 冷蔵庫は「自動」か「中」モード以下にしよう	79g	<input checked="" type="checkbox"/> 51%	1025kg
7 エアコンのフィルターを掃除しよう	59g	<input checked="" type="checkbox"/> 26%	327kg
8 LED 照明に交換できそうなところを探してみよう	57g	<input checked="" type="checkbox"/> 29%	871kg



横浜カーボン オフセット プロジェクトとは

横浜で行われるラグビーワールドカップ™、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを環境にやさしい大会にするために、大会で出てしまう二酸化炭素 (CO₂) 量と同じくらいの量を市民の皆さんの省エネにより削減しようという取組です。

世界のために
自分ができることがこんなにある
ことに気づきました。

高田東小学校 (6年)

オリンピックとかラグビーとか
パラリンピックに参加できるのは
選手や観客や審判だけなのかと
思っていたけれどエコに参加でき
ると聞いてうれしくなりました。
また自主的に取り組んでみたいと思います。

南希望が丘中学校 (1年)

省エネをしてオリンピックを
楽しみたいと思いました。

別所小学校 (5年)

いつもはそんなに
気にしてなかったけど
やってみたら心がスッキリしました。

善部小学校 (3年)

私達のあとにつづく世代に
もっと良い地球を渡したいです。

日下小学校 (保護者)

こんなにも CO₂ 削減されるんだ
とびっくりしました。
もっと続けてやってみたいです

綱島東小学校 (4年)

取り組んでみて
「こんなふつうのことで、
二酸化炭素をへらせるのなら、
今後もずっと続けよう！」と思いました。
全部とても簡単なことなので、
続けていきたいと思います。

小机小学校 (5年)

まいにちやりたいです。
ちきゅうをまもらたいです。

太尾小学校 (1年)

今回の大型台風も
温暖化が原因
なのかもしれないと思うと
私たちができることすんで
取り組みたいと思いました

山中中学校 (保護者)

にさんかたんそが
自分たちの日常でこんなにたくさん
出てくるとは思いませんでした。
これからも家族といっしょに
できるはんいで続けていきたいです。

駒林小学校 (2年)

「なにかをやめる」
などときびしいイメージだったけど
毎日できることなので
とってもいいと思った

上永谷中学校 (2年)

省エネ行動について
親子で話し、
地球温暖化が私たちの生活に
重大な影響を及ぼす
話をする事が出来ました。

大豆戸小学校 (保護者)

参加校一覧

羽沢小学校 池上小学校 幸ヶ谷小学校 洋光台第四小学校 日吉台小学校 港北小学校 菊名小学校 新吉田小学校 師岡小学校 矢上小学校 駒林小学校 太尾小学校
新羽小学校 新吉田第二小学校 大豆戸小学校 小机小学校 城郷小学校 高田東小学校 綱島小学校 末吉小学校 市場小学校 下野谷小学校 入船小学校 鶴見小学校
岸谷小学校 矢向小学校 上末吉小学校 馬場小学校 駒岡小学校 獅子ヶ谷小学校 新鶴見小学校 市場中学校 潮田中学校 鶴見中学校 上の宮中学校
神奈川小学校 神橋小学校 浦島小学校 六角橋中学校 松本中学校 戸部小学校 平沼小学校 宮谷小学校 みなとみらい本町小学校 北方小学校 立野小学校 大鳥小学校
間門小学校 大岡小学校 別所小学校 日下小学校 桜岡小学校 南台小学校 上大岡小学校 芹が谷南小学校 下野庭小学校 永谷小学校 港南台第二小学校 港南台第三
小学校 丸山台小学校 小坪小学校 野庭すずかけ小学校 上永谷中学校 野庭中学校 日野南中学校 峯小学校 桜台小学校 上菅田小学校 初音が丘小学校 仏向小学校
権太坂小学校 岩崎中学校 岩井原中学校 新井中学校 市沢小学校 都岡小学校 希望ヶ丘小学校 鶴ヶ峰小学校 上川井小学校 さちが丘小学校 中沢小学校 中尾小学校
善部小学校 鶴ヶ峰中学校 万騎が原中学校 上白根中学校 旭中学校 南希望が丘中学校 今宿中学校 旭北中学校 若葉台中学校 浜小学校 洋光台第三小学校 森東
小学校 さわの里小学校 六浦小学校 大道小学校 文庫小学校 瀬ヶ崎小学校 朝比奈小学校 高舟台小学校 並木第四小学校 能見台小学校 小田小学校 大道中学校
西柴中学校 富岡中学校 並木中学校 釜利谷中学校 篠原小学校 大曾根小学校 篠原西小学校 山田小学校 綱島東小学校 北綱島小学校 篠原中学校 日吉台西中学校
鉄小学校 山内小学校 つつじが丘小学校 美しが丘小学校 榎が丘小学校 すずき野小学校 みたけ台小学校 嶮山小学校 藤が丘小学校 美しが丘東小学校 恩田小学校
桂小学校 山内中学校 青葉台中学校 鴨居小学校 新治小学校 森の台小学校 竹山小学校 長津田第二小学校 いぶき野小学校 折本小学校 荏田小学校 荏田南小学校
茶ヶ崎台小学校 牛久保小学校 中川西中学校 都田中学校 荏田南中学校 中和田小学校 西本郷小学校 境木小学校 桂台小学校 本郷台小学校 小山台小学校 桜井
小学校 上郷小学校 東戸塚小学校 川上北小学校 上矢部小学校 品濃小学校 東中田小学校 新橋小学校 和泉小学校 いずみ野小学校緑園西小学校 西が岡小学校
飯田北いちよう小学校 三ツ境小学校 二つ橋小学校 大門小学校 瀬谷さくら小学校 鴨志田中学校 市ヶ尾中学校 東鴨居中学校 大正中学校 中和田中学校 舞岡中学校
中田中学校 深谷中学校 西本郷中学校 小山台中学校 秋葉中学校 瀬谷中学校 原中学校 南瀬谷中学校 霧が丘学園 元街小学校 三ツ沢小学校 大綱小学校



横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課

横浜 カーボンオフセットプロジェクト

E-mail: on-carbonoff@city.yokohama.jp

TEL 045-664-2525

(横浜コールセンター)

FAX 045-663-5110



羽沢サステイナブルマップ 2020版



羽沢保育園さん
パルシステムさん
川美せんべいさん
横浜ボッチャクラブさん
羽沢ファーム代表さん

相鉄さん (羽沢横浜国大駅)
ジャムづくり達人のエクセル代表取締役さん
株式会社 JC Studios 代表さん

上記の方々が新たに羽沢サステイナブルマップに仲間入りしました。

羽沢サステイナブルマップ 2021版



MAYLILY さん
 サカタのタネ さん
 豆腐工房とちぎや さん
 ローズプロジェクト さん
 横浜市国際交流協会 さん
 創立五十周年記念樹 (さん=三枚町会長寄贈)
 社団法人「横浜すばいす」コメットさん (さん=先生)
 NPO 法人「ソフトエネルギープロジェクト」 さん
 上記の方々が新たに羽沢サステイナブルマップに仲間入りしました。